

しず老施協

No. 67

令和5年7月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312

E-mail: sizurosi@vesta.ocn.ne.jp

<http://www.shizu-roshikyō.jp/>

巻頭言



会員施設と共に

静岡県老人福祉施設協議会副会長 前田 万正

副会長となり8年目を迎えます。長くやっている割には、達成感を今一つ感じられないのは、令和2年度からの新型コロナの影響が大きいと思います。

コロナ禍では一堂に会することがご法度になってしまいました。静老施協が主催する「高齢者福祉研究大会」「県外研修」「施設間交流研修」「街頭での介護の日啓発活動」などが、すべて中止となってしまいました。私にとっては、事業を終えての一杯と老施協の先輩や仲間たちの語らいが活動の原動力でしたので、忍耐の3年間となりました。しかし今年に入り、少しずつ明るい兆しがみえてきました。嬉しい限りです。

さて、コロナウィルス蔓延に伴い多くの会員施設がクラスターに見舞われました。当初は、クラスター発生施設への応援職員の派遣について、積極的に関与することが出来ましたが、クラスター施設が重なり、令和4年度においては応援職員を派遣することが出来ませんでした。

令和4年9月の台風15号による集中豪雨、多くの会員施設が停電・断水・浸水等に見舞われました。特に清水区の特養2施設では、床上浸水に遭い、大きな被害を受けました。災害ボランティアを募ると即複数の施設が応じ、飲料水等の物品の提供や泥に覆われたフロア等の片付けや清掃を行いました。コロナ禍の元、自施設のやりくりで追われている中、お互い様の精神

を実践してくれた会員施設に頭が下がりました。

物価高騰により、会員施設は相当なダメージを受けております。私の勤務する特養(長期110床・短期10床)においても、令和3年度と4年度の電気料金を比較すると、約880万円の増額となりました。

静老施協としては、本年5月に静岡県・静岡市・浜松市・県自民党介護議連に対して、『物価高騰に対する高齢者福祉・介護施設等への支援について』要請活動を行ったところです。今回は緊急的な要請でしたが、定期的に挨拶や要望活動等で訪問しているせいか？好意的に受け入れて下さり、会員施設の窮状に耳を傾け、前向きに捉えていただきました。利用料金が法定価格として決まっている以上、食料品や電気代等が値上げされたからといって、利用料を上げる訳にはいきません。クラスターになれば、ショートやデイの利用控えとなり、収益も下がります。まさにダブルパンチです。このような状況ですので、補助金はとてもありがたいです。一日も早く支援されることを祈っています。

種岡会長は、常々「会員同士は皆、仲間」と熱く語っています。私としては、仲間意識が持てるよう様々な事業等を通して、会員施設が少しでも元気になっていただくように、『会員のための静老施協』を肝に命じ取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

静岡県の外国人介護人材確保の取組 ～モンゴル国からの採用ルート確立を目指して～



静岡県健康福祉部
福祉長寿局長

勝岡 聖子

〈外国人介護職員の状況〉

本県の外国人介護職員は、令和4年10月現在、886人と過去最高を記録しました。平成29年以降、技能実習、特定技能、介護と次々に在留資格が創設され、ベトナムやミャンマー出身者が急激にその数を増やしたことが大きな要因です。

ところが、最近では円安や実質賃金の低下等により、外国人労働者にとって日本で働く魅力が低下しており、今後はベトナム等からの人材確保が難しくなることが心配されます。

〈モンゴル国現地面接会の開催〉

そこで、県では、友好関係のあるモンゴル国において、現地面接会の開催を9月下旬に計画しています。ウランバートル会場では、近郊の大学生や高校生などの参加を、また、ドルノゴビ県では、モンゴル国立医科大学ドルノゴビ県キャンパスを会場に、同キャンパス学生の参加を見込んでいます。

また、現地面接会に先立ち、本県健康福祉部長がモンゴルに赴き、モンゴル国立医科大学ドルノゴビ県キャンパスと、介護分野での交流を進めていくための覚書を取り交わす予定です。

5月17日に来静した同大学ドルノゴビ県キャンパスのオッゴンチメグ・マンガル学長は、「本学卒業生は、すぐに介護の仕事の戦力になると思う。今後、日本語の語学プログラムを取り入れることも検討している。ドルノゴビ県と静岡県は密接な関係にあり、今後も交流を深めていきたい。」と話されましたので、多くの学生の面接会への参加はもとより、今後の交流についても期待しているところです。



オッゴンチメグ学長（右側）と健康福祉部長

〈モンゴル国出身の介護職員が働く事業所への訪問〉

先日、モンゴル国出身の介護職員、オユンナさんが働いているグループホームうさぎを訪問しました。驚いたのは、彼女の日本語能力の高さ！外国人介護職員の課題は、なんといっても日本語能力ですが、私との会話もご利用者とのコミュニケーションも非常にスムーズでした。

彼女は、「日本語はモンゴル語と文法が似ているので理解しやすい言語」で、「モンゴルは家族を大切に作る国民性」と話していましたので、モンゴルの方は介護の仕事に向いているのかなと感じました。それは仕事で辛かったことは、「ご利用者が亡くなった時」と答えたことから窺い知ることができたように思います。



ご利用者と一緒に折り紙を折るオユンナさん

〈今後に向けて〉

日本の高齢者人口のピークは2043年と推計され、今後も介護需要は増えていくと予測されていますが、近年は介護分野だけでなく、物流業や建設業など他業種でも人材不足が深刻化しています。

生産年齢人口が急減していく今後は、国内人材の確保・定着を基本としつつも、海外からの人材も確保し、介護分野を支える存在となってもらわなければならないと考えています。今回の現地面接会等をきっかけとして、モンゴル国との交流を深めることにより、同国からの採用ルート確立を目指していきます。

特集2

介護の選手権 オールジャパンケアコンテスト 【AJCCは介護のカンフル剤】



特別養護老人ホーム菜の花
施設長 川口 節子

AJCC（オールジャパンケアコンテスト）の初回は、2010年（平成22年）に鳥取県米子市の社会福祉法人こうほうえんの廣江 研 理事長（現会長）社会福祉界の第一人者が発起人となり、厚労省の協賛を得て米子市で開催されました。菜の花では全国から集まる毎回約250人の強豪を相手に、これまで3回、各1名の施設職員が選手として参加しました。その後、大会の実行委員の組織は社会福祉法人こうほうえん、SONPOケア株式会社、株式会社やさしい手、東京ロイヤル株式会社の4社が主管して11回目から東京での開催となり、参加し易くなり、昨年で12回目を迎えました。

廣江 研 会長のAJCCに係るコミットメントの概要



コンテストの様子

は『全国各地の介護従事者が日頃の介護技能や心構えを披露して、介護とは何かを考え、選手同士はもちろん、ご利用者やご家族、地域の皆様との繋がりや絆の大切さを体感していただく場とする』とあります。大会で各分野の専門家の助言、評価を得ることで、介護職は高いレベルに到達する専門性の向上に繋がります。

選手権とは【競技の中で最も優れた個人、チームの優勝者を決めるための大会のこと】選手権の種類はオリンピックの各競技、文化系、医療系はノーベル賞から囲碁、将棋、など驚くほど多く、介護の選手権も各県下で行われています。藤枝市が2018年3月から開催している藤枝プロフェッショナル選手権もあり、当施設の職員で看取り介護に高い技術を持つ「看取りの大塚」も藤枝大会への参加1回、AJCC参加2回、ようやく3回目の挑戦で、選手権での勝利を勝ち取りました。過去のAJCCの大会では愛華の郷と菜の花が認知症部門で優秀賞を獲得し、これで静岡県では今回を含め3名が勝利（優秀



廣江会長から表彰される大塚さん

賞）を獲得したことになります。

看取りの看の字は看護師の看でもあり、手と目と書きます。亡くなる瞬間はロボットに頼らず、手と目で寄り添って看取って差し上げたい。当施設では、✳藤袴（フジバカマは「秋の七草」の一つで、万葉の時代から人々に親しまれてきた植物。平安時代は香り袋に藤袴を入れて十二単に忍ばせていたようで、当施設では育てた藤袴を香り袋に入れて看取りの入居者様にも楽しんでいただいています。）が、今も優しく傍で香っています。

「勝者の道は一步ずつの毎日の努力」と言われるが如く、「看取りの大塚」の日常の介護の関わり方はキラリホット報告（H29,4,14）にも表れています。「中村様（当施設の入居者）の状態が悪化した時、勤務が終わったデイ、厨房、事務、看護師、職員が職種を超えて施設全体で状態悪化を周知（情報共有）してお顔を見に来てくれました。（自分は）元受け持ちでしたが、凄く嬉しく思いました。ありがとうございました」大塚篤樹。

受賞後、テレビで最後の言葉「来年も✳藤袴を咲かせて見せます」と全国に発信しました。彼にとっても職員にとってもAJCCの優秀賞受賞は【介護のステップUPのカンフル剤】。更に高い専門性の向上の為のステップUPの機会になり、良い介護人生の花を咲かせてほしいと願っています。



受賞後の大塚さんと川口施設長



当施設の藤袴に集うアサギマダラ（蝶）

食べることを支える管理栄養士・ 栄養士の役割と課題について



公益社団法人 静岡県栄養士会
会長 新井 英一

静岡県老人福祉施設協議会の皆様には、平素より大変お世話になっております。現場で働く管理栄養士・栄養士に対しても多大なご支援、ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ヒトにおいて「食べること」は生きることであり、楽しみや生きがいにもつながっています。生体応答の面で見ると、食べる行為を通じて、ドーパミンやセロトニンというホルモンが分泌され、快楽や快感そして幸福感をもたらしてくれます。したがって、管理栄養士・栄養士は、「口から」食べ続けることを支え、栄養状態を高め、最期まで自分らしく生きられることに貢献できるよう務めております。

令和3年度の介護報酬の改定に伴い、「連携すること」「食べること」により重点がおかれ、施設系サービスでは栄養ケア・マネジメントの強化に、通所系サービスや認知症グループホームでも口腔機能向上および栄養改善の取組が充実し、管理栄養士の関与によるきめ細やかな栄養管理とサービスに加算がつけました。さらに、施設に管理栄養士の配置が進んでいない場合、都道府県栄養士会に設置された栄養ケア・ステーションに登録している管理栄養士に対して、施設から主治医を通じて居宅療養管理指導の依頼をすることも可能（加算対象）になりました。多職種が連携し、要配慮者の栄養状態を高めるための環境が整いつつありますので、ぜひとも管理栄養士・栄養士をご活用いただけますと幸いです。

一方、ここ数年コロナの影響を大きく受け、管理栄養士・栄養士の卵（学生）が福祉施設での学外実習を受けることができていません。また、現場は即戦力が必要なため、経験者が優遇され、若手の育成が後回しになり、施設における管理栄養士・栄養士不足に繋がっています。人員確保はどの職域でも大きな課題であるため、職能団体として栄養士会も人材育成に力を注ぎ、他職域の方々と連携し、課題の解決に努めていきたいと感じています。

最後に、社会情勢が不安定となり電気代や食材費高騰の煽りを受け、献立作成の難しさに直面しています。食べることの重要性が謳われている反面、食費が第一に削られているとも聞きます。たんぱく質やエネルギーだけではなく、生命にとって必要な微量栄養素を含めた栄養管理をすることが、寿命の延伸に繋がります。真の栄養状態を評価し、改善するためにも、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。食事に関することでお悩みやご相談がある時は、ぜひ静岡県栄養士会 栄養ケア・ステーションまでお問合せください。



職員紹介

各施設の職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

なかざと

（富士市）

- ① 藤原卓弘（介護職員）
- ② 2人目の子供がつかまり立ちが上手になったこと。
- ③ 堺雅人、上村ひなの
- ④ 家族にちょっと豪華なプレゼント後は大切に資産運用。
- ⑤ 楽しく明るい施設。
- ⑥ 知り合いの紹介で知りました。気さくで明るい職員も多かったのが楽しくやりがいをもって働けると思い選びました。



ケアハウス富士の里

（富士市）

- ① 矢崎利江（生活相談員）
- ② 沼津にコストコ再販店ができたこと
- ③ 羽生結弦
- ④ ハワイで遊んで暮らす
- ⑤ 不安がなく安心して穏やかに過ごせる施設にしていきたいです
- ⑥ 今まで特別養護老人ホームでしか働いた事がないので、他の高齢者施設も経験してみたかった。



あおい荘

（焼津市）

- ① 夏賀雄司（介護士）
- ② 新しいゲーム機を購入して、子供と一緒に楽しくたくさん遊べること。
- ③ 池江璃花子（水泳選手）
- ④ まずは家のローンを返済。家族と海外旅行を楽しみたい。
- ⑤ 毎日、ご利用者の皆さまの笑顔が絶えない施設。
- ⑥ 自然豊かな環境の中にある施設であること。職員間のコミュニケーションが素晴らしいこと。



厚生苑新緑の郷

（静岡市葵区）

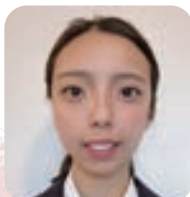
- ① 宮原 悠（介護職員）
- ② 入居者様と、色々な話で盛り上がり、笑い合えたこと。
- ③ 読売ジャイアンツ、坂本勇人選手
- ④ 旅行に行きたい。
- ⑤ 明るく、楽しく、職員も入居者様も笑顔で居られる職場。
- ⑥ サマーショートボランティアの際、理想の介護だと共感できたから。



喜久の園

（菊川市）

- ① 宮城七子（介護職員）
- ② 妹が高校に受かった
- ③ ムロツヨシ・ダルビッシュ有
- ④ 貯金
- ⑤ 笑顔あふれる施設
- ⑥ 職員の方が元気で利用者の方と沢山話して笑っていたから



中泉の里

（磐田市）

- ① 服部光彦（生活相談員）
- ② 学生時代の友人と久しぶりに再会したこと
- ③ 鈴木亮平
- ④ マセラティ・トロフェオを購入したい
- ⑤ 利用者様ご家族様及び関わる職員も幸せに生活できる環境
- ⑥ 前職は老健でリハビリに関わる介護職員として働いていました。きっかけは母の死と祖母の介護からでした。今の職場はそれと向き会える環境を与えてくれたので恩返しができればと思っています。



どうぞよろしくお願いします

物価高騰支援に関する要望活動

～静岡県・静岡市・浜松市・自民党県議連への要望活動について～

令和5年5月10日（水）に静岡県及び静岡市への要望活動、5月11日（木）に浜松市への要望活動、5月19日（金）に自民党県議会「安心して過ごせる高齢者施設を考える議員連盟（以下「自民党介護議連」）」への要望活動を行いました。

物価高騰に対する高齢者福祉・介護施設等への支援について（要請）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より高齢者福祉・介護施設等への支援についてご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年9月に創設された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」（以下「重点交付金」という）につきましては特段のご配慮をいただいていることに深く感謝申し上げます。

物価高騰は、昨年度の重点交付金の規模では電気・ガス・食料品等の上昇分の全てをカバーできず、なお経営に大きな影響を与えています。また、各産業界における賃上げの動きは大企業だけでなく中小企業にも波及してきており、高齢者福祉・介護施設等においても更なる賃上げを実施しなければ、人材確保が一層困難となり、事業継続が脅かされることが懸念されます。

このような中、令和5年度の物価高騰への支援については、令和5年3月22日に「第8回物価・賃金・生活総合対策本部」が開催され、物価高騰に対する追加策等が示されました。高齢者福祉・介護施設に関連するものは、予備費を活用して重点交付金を積み増しし、電気・ガス・食料品等の物価高騰への対応により重点的に活用されるよう、効果的と考えられる推奨事業メニューを地方自治体へ提示することとされ、推奨事業メニューとして引き続き「医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援」が挙げられています。また、厚生労働省からも3月29日付け介護保険主管部局あて事務連絡により、今般の積み増し等を踏まえ、引き続き物価高騰における介護サービス事業所・施設等の負担の軽減に向け、重点交付金の積極的な活用を検討いただきたいとする旨が示されております。

このことについてご賢察を賜り、高齢者福祉・介護施設等への緊急的な支援について、一日も早い実現を図っていただきますようお願い申し上げます。

また、各市町に対して高齢者福祉・介護施設等に対する重点交付金活用の優先度を上げていただくよう積極的な働きかけをお願いいたします。

令和5年5月10日

静岡県健康福祉部長

八木 敏 裕 様

静岡県老人福祉施設協議会

会長 種 岡 養 一

※静岡市・浜松市・自民党介護議連に対しても同様の要請書を手交しました。

【自民党県議連への要望】

宮沢県議（自民党介護議連会長）訪問

【静岡県への要望】

八木 健康福祉部長訪問



写真左から宮沢県議、種岡会長、石川相談役、前田副会長、増田副会長

【静岡市への要望】

吉永 保健福祉長寿局長訪問



【浜松市への要望】

鈴木 健康福祉部長訪問



令和5年5月19日

静岡県知事 川勝平太 殿

静岡県議会自民改革会議
代表 良知淳行
政調会長 中田 次 城

物価高騰対策に関する緊急要請

わが会派は、令和5年3月24日に「物価高騰への追加対策に関する緊急要請」を行い、「特別高圧での受電契約者や、LPガス利用者に対する負担軽減策」、「畜産農家や漁業者への支援」、「価格転嫁することが困難な医療機関や社会福祉施設に対する支援」等の5項目に渡る具体的な対策を講じるよう要請したところである。

一方で、2022年度の生鮮食品を除く消費者物価指数の伸び率は、前年度比3.0%の上昇と歴史的な水準での上げ幅となった。現時点においても、原材料高、エネルギー高、円安が重なっている状況に変化はなく、物価高騰は継続している。エネルギーや食料費、日用品といった幅広い品目での価格転嫁は引き続いており、県民生活、事業活動への負担は、目を追うごとに深刻になっている実態があることから、以下の事項についてよりスピード感を持って対応するよう要請する。

- 1 令和5年3月24日の「物価高騰への追加対策に関する緊急要請」に基づく以下の対策を一刻も早く実行に移すこと。
 - ①特別高圧での受電契約者や、LPガス利用者に対する負担軽減策
 - ②畜産農家や漁業者への支援
 - ③価格転嫁することが困難な医療機関や社会福祉施設に対する支援
 - ④県立学校における給食費の物価上昇に対する支援
 - ⑤価格転嫁に向けた取組の強化
- 2 食料品、電気料金等の更なる値上げが想定されることから、状況の変化に応じて機動的に対応すること。
- 3 各市町と情報共有を密に取ることで、より効果的な取組を行うこと。

※自民党介護議連 良知副会長からご提供いただきました。

支部紹介(東部支部)

福祉事業・介護現場にDX（デジタルトランスフォーメーション）を取り入れる



社会福祉法人美芳会
特別養護老人ホームすどの杜
施設長 大塚 芳正

社会福祉法人美芳会での『福祉事業・介護現場にDX（デジタルトランスフォーメーション）を取り入れる』についてご紹介します。

【導入する理由】

福祉事業・介護現場でDXを取り入れる理由としては、以下のようなものが挙げられます。

- ・人員不足の解消
- ・作業の効率化・省力化
- ・介護サービスの質の向上
- ・ユーザーのニーズに合ったサービス提供
- ・コスト削減

【導入された取り組み】

導入されたDXの具体的な取り組み事例としては、以下のようなものがあります。

■社内チャットツール・オンラインノートとテレビ会議の利用

美芳会全体でMicrosoft365（※1）をテックスーププログラム（※2）を利用して、IT製品を安価で導入しています。その製品のうち、Microsoft TeamsとOneNoteというサービスを利用して、社内間連絡を70%をチャット運用に切り替えています。また会議もテレビ会議を活用しています。

■研修の動画化（ストリーム化）・研修報告のwebフォーム化

介護保険や老人福祉法や労働法に定められている研修やスキルアップにつながる内容の研修をはじめ、業務のマニュアルなども動画化し社内ストリーミングサイトを通じて、いつでも見ることができる環境を整えています。視聴後は研修報告をwebフォームでの入力を行い、研修履歴をクラウドシステムで集約することにより、自身の必要研修数の進捗をリアルタイムで確認することができ、研修報告を振り返ることができる仕組みとなっています。

■社内申請業務アプリの内製化と活用

Microsoft365のパッケージに含まれるノーコードアプリ作成ツールにより、介護業務以外での社内で活用する業務をアプリ化し誰でも・どのパソコンでも社内申請を簡易的に行うことができるようになりました。

■見守りセンサーシステムの活用

居室内利用者の状況を居室に配置した人感センサーを通じて部屋の温度・湿度・明るさ・人の動きをリアルタイムで計測するシステム。起床・就寝時間と部屋での様子が分かり、タブレット・パソコンで常時確認ができるほか、異常検知時の通知がされるため見守りの余裕ができます。また、社内チャットツールとの併用により、情報の共有が円滑化し、サポートの体制構築や職員ひとりひとりの心理的なストレスの緩和ができます。



【期待していたメリット】

DXを取り入れることにより、当初より以下のようなメリットを期待していました。

- 作業効率が向上するため、スタッフの負担が軽減される
- ユーザーの健康状態や位置情報を把握し、早期発見・予防ができる
- 情報共有が円滑化するため、ミスや漏れが防ぐことができる
- 介護サービスの質が向上するため、ユーザーの満足度が高まる
- コスト削減につながるため、経営効率が向上する

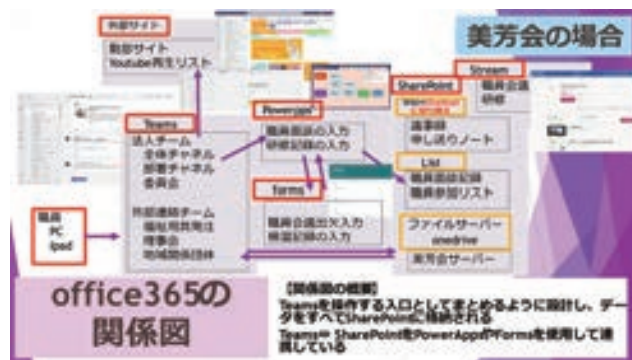
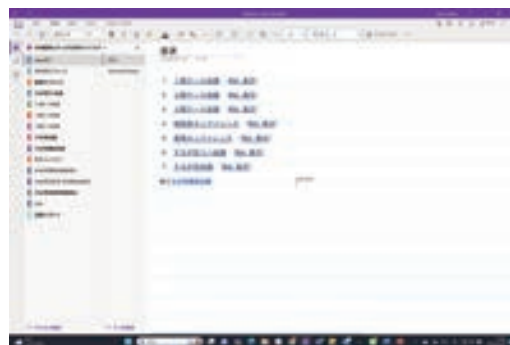
【成果】

- 職員満足度調査において、休暇の取得や労働時間の項目において、習熟度が上がるにつれて高い水準へと改善している。全体的な労働時間は削減されており、研修回数は増加している。

【振り返りと注意点】

介護現場でDXを導入するにあたり、以下のような注意点があると感じています。

- 利用者のプライバシーや個人情報の保護に十分配慮すること
- 技術を導入することで、人間同士のコミュニケーションや礼節が失われないようにすること
- 導入にあたっては、スタッフに対する十分な教育やトレーニングが必要であること
- 会議の手法やさらなる改善のための分析など高度な内容になった際の知見や検討の組織能力の向上が課題となる
- 職員の定着度や理解度のための表現方法の工夫と改善をノウハウとして蓄積し展開する能力開発が求められる



【まとめ】

介護現場にDXを取り入れることにより、スタッフの負担軽減や作業効率情報共有の円滑化など、多くのメリットがあります。ただし、プライバシーや個人情報の保護、人間らしさやコミュニケーションの重要性、教育やトレーニングの必要性にも配慮する必要があり、組織として継続的な定着の工夫と努力が必要だといえます。

(※1) Microsoft365 マイクロソフトが提供する Microsoft Office製品のサブスクリプションサービスである。

(※2) テックスープ（英語: TechSoup）は1987年にアメリカ合衆国サンフランシスコで設立された、非営利組織をICTで支援する組織です。日本でのテックスープ・プログラムは特定非営利活動法人日本NPOセンターが運営・管理しています。

質問	R2	R3	R4	折れ線
有給休暇は取得しやすく、十分消化している	85.7	88.4	84.1	
度を越した残業を強いられることはない	62.5	83.0	81.8	
仕事上で必要な知識や技術については、十分な教育や研修の機会が与えられている	62.5	73.2	79.5	
現在の仕事の中で、自分が成長しているという実感がある	66.1	71.4	69.3	
私たちの法人に対して、総合的に満足している	62.5	72.3	72.7	
法人内の職員向けのシステム（社内ホームページ、メール、掲示板等）は利用しやすい。		71.43	72.7	

時間外	R2	R3	R4
全体	1292h	1129h	784h
1人	5.1h	4.2h	3.1h

研修回数		R3	R4
社内研修	全体	573	503
	1人	14.3	12.5
e-ラーニング	全体	539	1190
	1人	15.4	34

委員会紹介

令和4年度 全国老施協カントリーミーティング 関東・九州ブロック大会を終えて（令和5年2月15日開催）



静岡県老人福祉施設協議会次世代委員会委員
全国老施協カントリーミーティング
関東・九州ブロック大会
実行委員長 木下 晋一

20年間に亘って現場の声を集積し、課題に向き合ってきた「カントリーミーティング」。記念すべき第1回目は初代栗野委員長のもと静岡県で開催されました。会場は当時開業間もない静岡センチュリーホテルでした。全国老施協の会長始め、関東ブロックの会長、各県の会長も参加され800人近くの参加を得、盛大に執り行われました。私は当時副委員長として分科会のコーディネイターを担当し、分科会には全国老施協の中村博彦会長（当時）も参加されて活発な意見が飛び交って活況を呈していました。以降、高齢者施設・事業所や全国老施協・各県老施協で活躍する人材を輩出するなど大きな役割を果たすとともに、介護現場を担う若い職員同士がつながり、自由闊達な意見交換ができる場として定着して行きました。

しかし、この20年間で、目的や求められる成果等が大きく変わりました。その為、目標を“次世代を担うリーダーの育成”とし、重点課題として「人材育成・ネットワークの構築」等を掲げ、その在り方や事業の見直しを行いました。又、コロナ禍の中、令和2年度の千葉大会が中止になるなど、これまで行ってきた参集型では開催ができない状況に陥ってしまいました。

令和4年度のカントリーミーティングは、過去2年間の実行委員等のプレ開催を含む評価を踏まえ、オンラインにて、初の2ブロック合同開催となり、【関東・九州ブロックカントリーミーティング】となり私は、

実行委員長と総合司会を仰せつかりました。分科会のプログラムは、説明・進行 広瀬 毅氏（慶應義塾大学システムデザイン マネジメント研究科特任準教授）
テーマ：【見たことも聞いたこともない介護現場の「睡眠」をガラリと変える方法】介護現場重視（“現場”に始まり、“現場”に戻る）の姿勢と参加者が自由に意見交換し議論するというカントリーミーティングにおける醍醐味を堅持しつつ、課題解決のための議論の手法を取り入れた未来型思考のパッケージ（ツールとして一人2台のモバイルを使用してzoomとオンライン上のホワイトボードMiróを使用してワークショップに参加。）として展開し、学術、産業等の方の参加も得て盛況の中に閉会致しました。

「21世紀委員会」が、今年度から「JS次世代委員会」と名称が変更され、カントリーミーティングも「次世代ワールドCafé」となり新たな人材育成に取り組みます。



委員会紹介

広報委員会の活動紹介



広報委員会委員長

倉田 聡

いつも静岡県老人福祉施設協議会ホームページ（HP）、機関紙「しず老施協」をご愛読していただき誠にありがとうございます。広報委員長の倉田と申します。広報委員会活動紹介をさせていただきます。

広報委員会は企画委員会から独立し、施設長以外も委員として参加しているフレンドリーな委員会で会員の皆様に使いやすく時代に合ったコンテンツを考え少しずつ拡充改善に取り組んでおります

メインコンテンツはHPと機関紙しず老施協。

64号からは新人紹介を職員紹介に変更。幅広く職員を紹介して欲しいとの声からです。

新規加入施設以外にもっと会員施設を知ってほしい声からしず老施協+HP連動で会員施設紹介を新企画で開始しております。是非ご覧ください

又、昔ながらの【足】を使った取材を開始。静岡県高齢者福祉研究大会表彰を各施設にて取材、次世代委員会（旧21世紀委員会）の企画イベントでの取材撮影もさせていただきます。

今後も各施設・エリアで面白い活動などがあれば是非広報委員で取材をさせていただきたいと考えております。ご連絡お願い致します



次世代委員会「学生セミナー」への取材



「研究大会優秀賞表彰」への取材



特集「男性も育児休暇取得」への取材

ここで広報委員長が面白いと思ったがボツになった企画の紹介

- ・「会員職員のペット紹介！」：機関紙がペットの写真ばかりになるのはいかがか？とボツ
- ・「新人紹介のその後を追え！」：そっとして欲しい職員もいるのでとボツ
- ・「高齢者も喜ぶ地域の美味しいお店紹介！」：くさ●カやぐる●び、食●グでも探せるよねとボツ
- ・「会員施設アイドルを探せ！」：差別になるのでは？とボツ
- ・「施設でも楽しめる！委員長のパ●ンコ・パ●スロ講座」：問題外ですね 強ボツ

最後に流行りのAIで記事を書いてみました
チャットGPTにて「静岡県老人施設協議会 広報委員会の活動紹介」を入力すると3秒で記事完成

1. 広報資料の制作と配布：老施協の活動や会員施設の情報を発信するために、チラシ、ポスターなどの広報資料を作成。これらは老人福祉施設や関連機関、地域の公共施設などに配布され、老人福祉に関する情報を提供します。
2. ウェブサイトやソーシャルメディアの運営：公式ウェブサイトやソーシャルメディアの運営を行います。最新のニュースやイベント、取り組みなどを掲載し、老人福祉施設に関心のある人々に情報を提供します。
3. メディアへの情報提供と関係構築：地元の新聞、テレビ、ラジオなどに対して、活動や老人福祉に関する取り組みについて情報提供を行い取材や報道の機会を増やします。
4. イベントの企画と実施：老施協主催のイベントやセミナーの企画と実施を担当。健康講座、介護セミナー、地域交流など、老人福祉に関連する様々なイベントを通じて、地域の人々との交流と情報共有を促進します。
5. 地域との連携：地域の福祉施設や関連機関と連携し、老人福祉の向上を図ります。イベントへの参加や連携プロジェクトの推進などの連携を通じて広報活動の範囲を広げ、人々に老人福祉施設の役割やサービスを理解してもらいます。

これらの活動を通じて、広報委員会は老人福祉施設の情報発信と地域との連携を推進し、高齢者やその家族に対するサポートと情報提供を行っています。

倉田：速さ手軽さはGood！自然な文章だが内容が異なるため、生成された内容の校正と推敲を適切に行うことで、今後の業務にプラスになると感じました。

最後までお読みいただき誠にありがとうございました。
これからも広報委員の活動応援よろしくお願いいたします

会員施設の紹介

軽費老人ホーム ケアハウス コフレ・アントレード富士

【一言キャッチフレーズ】

「自分らしさを愉しむ暮らし」
「自由で自立した生活」「安心安全な毎日」を実現するための
助言・支援を行い、快適な生活環境を提供していく。

【施設概要】

- ・施設名：ケアハウス コフレ・アントレード富士
- ・施設長名：水口康代
- ・運営法人：社会福祉法人岳陽会
- ・理念：All for your smile すべてはあなたの笑顔のために
- ・開所日：平成13年4月16日
- ・所在地：富士市岩本1020-1
- ・提供サービス：軽費老人ホーム
- ・定員数：50名



※詳細版はこちらから ⇒



特別養護老人ホーム カリタス21

【一言キャッチフレーズ】

『自分が利用したい』『自分の家族も利用して欲しい』と思える
そんな場所であり続けたい！

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホーム カリタス21
- ・施設長名：海野直秀
- ・運営法人：社会福祉法人 桂
- ・理念：『隣人愛』『あなたや、あなたの家族も住んでみたくなる やすらぎの家』
- ・開所日：平成9年4月1日
- ・所在地：静岡市葵区桂山723番地の6
- ・提供サービス：特別養護老人ホーム／ショートステイ／
デイサービス／ホームヘルプサービス／居宅介護支援
- ・定員数：100名



※詳細版はこちらから ⇒



特別養護老人ホーム かけがわ苑

【一言キャッチフレーズ】

「かけがわ苑が目指すものは、信頼と笑顔の花。
介護を必要とする方に 明るく楽しい安心した生活を届けます」

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホーム かけがわ苑
- ・施設長名：涌田美由紀
- ・運営法人：社会福祉法人 掛川社会福祉事業会
- ・理念：
 - ・社会福祉法人としての役割を認識し、健全で活力ある施設運営に努めます
 - ・個人の人格を尊重し、利用者本位のサービスを提供します
 - ・明るく、楽しく、安心した生活が営まれるよう信頼と笑顔で支援します
 - ・保健、福祉、医療機関等と連携し、地域福祉を推進します
 - ・積極的に研修、研鑽を積み質の高いサービスを提供します
- ・開所日：昭和60年4月1日
- ・所在地：掛川市大池648
- ・提供サービス：特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・通所介護・居宅介護支援
- ・定員数：特養80名・短期入所7名・通所介護30名



※詳細版はこちらから ⇒



令和5年度老施協活動報告（令和5年4月1日～令和5年6月30日）

☆は予定

【老施協・会務運営】

- ★4月6日 第1回相談役・正副会長会議
- ★5月10日 監事監査
- ★5月10日 第1回理事会
- ★5月10日 第2回相談役・正副会長会議

【協議事項】

理事の補欠の選任、令和4年度事業報告案、一般会計収支決算案、委員会委員の補欠の選任

- ★5月10日 県への要望活動（会長、中部支部長）
静岡市への要望活動（会長、中部支部長 等）
- ★5月11日 浜松市への要望活動（会長、西部支部長 等）
自民党県議連への要望活動（相談役・正副会長）
- ★5月25日 第1回総会
理事の補欠の選任、令和4年度事業報告案及び一般会計収支決算案等
- ★6月7日 第1回事業推進検討会議
- ★6月7日 第3回相談役・正副会長会議
- ★6月7日 第1回感染症発生施設応援体制検討会議

【企画経営委員会】

- ★4月21日 第1回委員会
令和5年度活動計画、役割分担、アンケートの実施等

【広報委員会】

- ★4月13日 第1回委員会
『しず老施協』第67号の企画、老施協ホームページ

【研修委員会】

- ★4月19日 第1回委員会
令和4年度活動実績、令和5年度活動計画（施設長研修、接遇マナー研修等）
- ★5月25日 施設長研修の開催

- ☆6月16日 第2回委員会
接遇マナー研修、人材育成研修の計画

【次世代委員会】

- ★4月17日 第1回委員会
令和4年度活動実績、令和5年度活動計画等
- ★5月30日 第2回委員会
学生セミナー、介護の日ポスター等
- ☆6月23日 第3回委員会
学生セミナー、介護の日ポスター等

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★4月14日 第1回委員会
令和4年度活動実績、令和5年度活動計画、今後のスケジュール等
- ★6月21日 第2回委員会
発表申込状況、今後の役割分担等

【養護委員会】

- ★4月27日 第1回委員会
令和4年度活動実績、令和5年度活動計画
- ☆6月26日 第1回養護委員会総会
令和4年度活動実績、令和5年度活動計画、県への要望等

【特養委員会】

- ★4月25日 第1回委員会
令和4年度活動実績、令和5年度活動計画等
- ☆6月27日 第2回委員会
令和5年度待機・入所状況調査等

【地域ケア委員会】

- ★5月31日 第1回委員会
令和4年度活動実績、令和5年度活動計画等

編集後記

私の知人で日本のいろんな所で生活されてきた方がいて、メインバンクを【ゆうちょ】にこだわっています。「だって富士山の頂上にでもあるだろ」

次の居住先は一度住んだことのある長野県上田市に決めているそうです。「真田家の上田城がありますね」一言から会話がはずみました。

私は40才を過ぎてから大河ドラマを見るようになり、歴史にほんの少し興味を持ちました。

ところで私は実家から近くの特養に勤めています。幼い頃父や祖母、近所の方々のとってもローカルな話を聞かされ、ただつまらなく無意味な情報だと思って

いました。

その後仕事として地域住民としても年配の方の話を聞く機会が増え、土地のこと、人や事柄が以前耳にした話とつながってきました。今となっては旧東海道の道筋や、目立たない神社の裏側にキリスト教の墓があることにも関心を持つようになりました。

人の生活、感情に少しでも共感又は理解できることを私自身面白く感じています。

地域の活動が再開され、旅行など遠出を楽しむ人が増えていますが、私も今年こそはと大河ゆかりの地のガイドブックのページをめくっています。（鈴木和寿）

特別養護老人ホーム ふじあざみ

法人名 社会福祉法人 博友会
 開設日 令和3年11月1日（入会年月日 令和5年4月1日）
 施設長 高根 雄二
 所在地 御殿場市印野字程塚1549-1
 入所定員 100人 デイサービス20人 短期20人



軽費老人ホーム 和松園

法人名 社会福祉法人 和松会
 開設日 昭和49年8月1日（入会年月日 令和5年4月1日）
 施設長 飯塚 辰也
 所在地 菊川市棚草1258
 入所定員 60人



地域密着型特別養護老人ホーム 第三長上苑

法人名 社会福祉法人 七恵会
 開設日 平成23年4月1日（入会年月日 令和5年4月1日）
 施設長 水谷 秀夫
 所在地 浜松市東区中田町584
 入所定員 29人



第12回 静岡県高齢者福祉研究大会案内

未来へつなぐ ふじのくにの介護力 ～今だから感じることを伝えよう～

○期 日 令和5年9月21日（木）午前9時50分～午後4時20分

○会 場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」中ホールほか

○内 容 研究発表 講演会
 〈講演会〉 10:20～11:30



〈研究発表〉 発表題数 50題 5会場において発表

○主 催 静岡県老人福祉施設協議会

○後 援 静岡県、静岡県社会福祉協議会、静岡県介護福祉士会、静岡県社会福祉士会、
 静岡県介護支援専門員協会、静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会